

# 平成30年度事業計画書

社会福祉法人長岡老人福祉協会  
高齢者総合福祉施設わらび園

特別養護老人ホームわらび園  
短期入所生活介護わらび園  
デイサービスセンターこしじ  
デイサービスセンターわらび園  
デイサービスセンターらいこうじ  
ケアハウスわらび園  
訪問介護ケアハウスわらび園  
居宅介護支援ケアプランわらび園  
地域包括支援センターこしじ・おぐに  
小規模多機能型居宅介護事業所ひうの家  
ケアハウスひう

## 基本理念

- 1 自分なり、自分の家族・友人が利用したいと思うサービスの実現を通して、利用者の満足と信頼を獲得することで地域社会の福祉の向上と事業体の発展を推進する。
- 2 職員一人ひとりが自己啓発に努めるとともに、その職責を十分に果たすことにより、働き甲斐のある職場と豊かな人生を実現する。

## 基本方針

- 1 職員一人ひとりが誠意と熱意をもって創造と革新を進め、全員参加の経営を遂行する。
- 2 利用者のニーズに適切に対応したサービスを提供する。
- 3 危険管理と不測事態への対応を確立する。
- 4 苦情に対しては、誠意を持って迅速かつ適切に対応する。
- 5 居宅サービスに対する潜在ニーズを掘り起こす。
- 6 効率的かつ働きやすい職場環境の改善を推進する。
- 7 公正な成績評価制度を確立する。

## はじめに

平成30年度は、介護保険の制度と報酬の改正の年です。全体としては0.54%のプラス改定としていますが、メリハリをつけており、アップするところだけではない内容となっています。特養や老健、定期巡回・随時対応サービス等の基本報酬はわずかながら引き上げられました。適正化と称して通所介護の時間区分が細分化され大規模を中心に基本報酬の単位数が減らされました。加算をみると自立支援・重度化防止の推進、医療との連携の強化、現場の生産性の向上の3つの要素が織り込まれた改正となっています。自立支援・重度化防止ではリハビリによって高齢者の自立支援や重度化防止を進めるための加算や、特養や老健では排泄支援加算や褥瘡マネジメント加算などが創設されました。医療との連携の強化では終末期の高齢者が増えていることで看取りへ対応する介護施設への報酬の加算の上乗せが行われました。現場の生産性の向上では、特養に夜間の見守りセンサーの活用に関する加算が初めて設けられました。ますます加算による報酬の割合が増加し、制度は複雑化して事務処理作業も多くなってきています。加算の内容を見極め、精査して取れるものは取っていかねばならないと思っています。また、労働力人口の減少による職員の確保が年々困難になってきています。職員の若返りを図ることは、活力ある職場を維持していくために欠かせない事であり、今後とも力を入れていかねばならないと考えています。

## 運営方針

基本理念に基づき、常に法令遵守の中で利用者に質の高いサービスを提供できるよう、経営体制を継続的に改善し利用者の満足と信頼を獲得することで、地域社会の福祉の向上に寄与する。

## 運営目標

- 1) 各事業所・部署はサービスの提供内容とそれに伴う職員体制を見直し、今後も健全に、そして選ばれる施設となっていけるよう全体の体制づくりに取り組むこととする。
- 2) 社会資源である施設の有効活用と経営基盤の安定のため、新しく改定された制度と報酬を正しく理解し、各種加算の取得に努めるとともに、特別養護老人ホームわらび園では、年間平均稼働率を96%以上とする。また各事業所についてもそれぞれの目標を達成する。

# 活動指針

## 施設介護課

◎利用者の安全を確保するため、介護事故報告書の検証を継続的に行っていく。

## 施設看護課

◎看取りの基本を理解し利用者やご家族の思いや願いに寄り添ったケアを提供する。

◎利用者の異常の早期発見と対応に努める。

## 訓練指導課

◎新規長期入所者のリハビリテーション実施計画書を、入所後 1 ヶ月以内に作成・同意を得、個別機能訓練加算を算定する。

## 施設相談課

◎各相談員が個々の役割や業務を自覚し、ベッドの有効活用のための連携や調整に努め、空床期間を短縮することで特別養護老人ホームわらび園の年間稼働率(長期、短期合算)96%以上の実現を目指す。

## 栄養課

◎職員個々の栄養・調理の知識や技術の向上を図り、安全で適正な食事を提供する。

◎新規長期利用者に対して、入所後 1 ヶ月以内に栄養ケア計画を作成・同意を得て、栄養ケアマネジメント加算を算定する。

## 施設管理課

◎無事故・無違反を目指す。

## 総務課

◎経費の節減を図る

## わらび園通所介護課 (デイサービスセンターこしじ・デイサービスセンターわらび園)

◎利用者が楽しみ、満足度の高いサービスを提供することで年間稼働率70%以上を達成する

◎制度・報酬改定を正しく理解し、正確な請求業務体制を確立する。

## デイサービスセンターらいこうじ

- ◎サービスの向上を図り、年間平均利用者数8名を維持する。
- ◎地域のニーズを把握し、活動に生かしていく。

## ケアハウスわらび園

- ◎入居者が安心、安全で和やかな生活を送れるよう支援する。
- ◎待機者の確保と入居者の適切な状態把握に努め「毎月一日付け利用者数30名」を維持する。

## 訪問介護課

- ◎「訪問介護計画表」を見直し、サービス内容の明確化を図る。
- ◎急な変更や追加にも迅速に対応し、活動時間7,000時間を目指す。

## ケアプランわらび園

- ◎利用者、家族との信頼関係を構築し、委託業務を含め給付件数『年1728件以上』を達成する。
- ◎業務改善を計画的に行ない、業務の適切な見直しで効率化を図る。

## 地域包括支援センターこしじ・おぐに

- ◎包括圏域会議・多職種交流会を年5回以上開催し、関係機関のネットワーク作りを推進する。

## ひうの家

- ◎安定した事業基盤を確立するため、地域における広報活動を積極的に行い、新規登録者確保に努める。

## ケアハウスひう

- ◎利用者のニーズや心身の状況を適切に把握し、自立支援の視点に立ったサービスの提供を行う。
- ◎安定した事業基盤を確立するため、新規入居申込者の確保と状況把握を適切に行い、平均稼働率96%を実現する。